

# 製品環境情報

## Product Environmental Aspects Declaration



E P及びI Jプリンタ (適用PCR番号: AD-04)

No. AD-17-955  
公開日2017年 12月 25日



KONICA MINOLTA

<http://konicaminolta.jp>

お問い合わせは・・・  
コニカミノルタジャパン(株)  
お客様相談室  
TEL. 0120-805039



お客様の使用期間を5年間、プリント総枚数を2,535,000枚として、環境負荷を算出しています。印刷用紙の環境負荷は含まれていません。

# bizhub C659

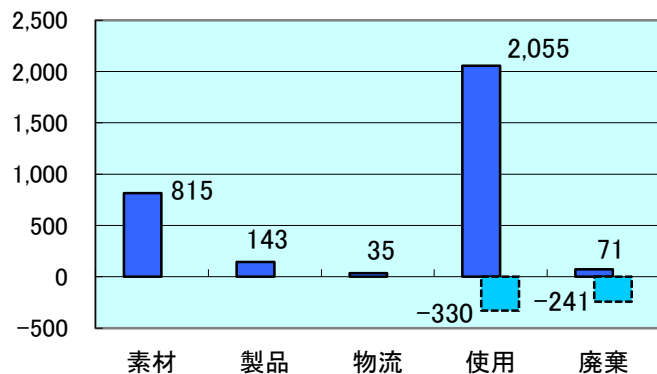
方式 電子写真方式カラー複合機(EP)  
印刷速度 モノクロ:65枚/分(A4)、カラー:65枚/分(A4)  
最大用紙サイズ A3  
画面コピー ノンスタックADU標準装備

### ライフサイクルでの消費・排出

	全ステージ合計
温暖化負荷(CO <sub>2</sub> 換算):kg	3,119 (2,547)
酸性化負荷(SO <sub>2</sub> 換算):kg	5.0 (4.0)
エネルギー消費量: MJ	57,026 (45,031)

※( )はリサイクル効果<sup>注3</sup>を含んだ環境負荷を示します。

### 各ステージ毎の温暖化負荷CO<sub>2</sub>換算(kg)



リサイクル効果<sup>注3</sup>

- (注) 1. 基礎データは、製品環境情報開示シート(PEIDS)並びに製品データシートに記載されています  
 2. データ算出のための統一基準は製品分類別基準(PCR)をご覧ください。詳細は <http://www.jemai.or.jp> をご覧下さい  
 3. 「リサイクル効果」は、他製品へ及ぼす環境負荷の間接的な影響を示します  
 4. 本製品の出荷国は中国ですが、現地の原単位データが未整備のため日本国内データを使用して計算しています

### 【その他環境関連情報】

- 他の環境ラベル取得状況
  - ・「エコマーク事務局認定・エコマーク商品」 認定番号 第17 155 014号
  - ・「国際エネルギースタープログラム登録商品」
- グリーン購入法判断基準に適合しています。

PCRレビューの実施: エコリーフ審議委員会 2008年1月1日 代表者氏名 内山 洋司 所属 筑波大学大学院  
 ISO14025に従った本ラベル及びデータの独立した検証 内部 外部 第三者検証者\*システム審査員:氏名 内藤 壽夫  
 プログラム運用者:一般社団法人産業環境管理協会エコデザイン事業室 [ecoleaf@jemai.or.jp](mailto:ecoleaf@jemai.or.jp)

\*システム認定を受けた事業者内の検証の場合は、システム認定をおこなった審査員の名称を記載。



【共通備考】

I ステージ関連

- 1 製造ステージ: 鉱石等より材料を作る素材製造と、材料を加工・組立して部品や製品を作る製品製造より構成される。
  - ・ 製造ステージ(素材): 資源の採掘と輸送、素材製造及び、リサイクル材料の生産等が含まれる。
  - ・ 製造ステージ(製品): 部品加工やリユース部品生産及び、組立、据付・施工等が含まれる。
- 2 物流ステージ: 製品の輸送が含まれる(消耗品・メンテナンス用品の輸送は使用ステージに含まれる)。
- 3 使用ステージ: 製品の作動、待機時のほかに、交換部品・消耗品の製造と廃棄リサイクルが含まれる。
- 4 廃棄ステージ: 使用済製品を廃棄するための環境負荷
- 5 リサイクル効果: リサイクル材使用や使用後に他製品へリサイクルする場合、他製品へ及ぼす波及効果(間接環境影響)を示す(リユースも同様)欄で、
  - \*他製品からリサイクルされた材料/リユースされた部品を用いた場合: 他製品の回収工程環境負荷の増加分と、廃棄処分環境負荷の低減分。
  - \*使用後に、他製品がリサイクル材料やリユース部品として転用した場合: 回収品からの再生工程環境負荷の増加分と、他製品の素材製造環境負荷の低減分。

II インベントリ分析関連

- 1 枯渇資源項目の鉱石類のデータは、鉱石に含有される純成分(鉄、アルミニウムなど)の量として示される。
- 2 エネルギー資源項目のデータは、発熱量起源の数値を記載し、例えば、ウラン鉱石は燃料として使用可能な濃縮ウランの原子燃料の量を示す。
- 3 水域への排出データは、実測値である(インベントリ分析の原単位計算からは算出されない)。

III インパクト評価関連

- ※インパクト評価は、インベントリ分析の負荷量を基準となる物質の量(例: 温暖化ではCO<sub>2</sub>)に換算し、合計して求められたものである。
- 1 消費負荷: 資源、エネルギーの枯渇への影響の程度を、括弧内の基準物質に換算して示した値である。
  - 2 環境排出負荷: 大気、水域、土壌への影響の程度を、括弧内の基準物質に換算して示した値である。

IV 記載データ

- 1 指数表示(小数点以下2桁)が原則である。
- 2 計算あるいは推算データが零と評価される場合、あるいは他のデータとの相対的關係において無視しうる場合は“0”表示(指数表示にしない)とされる。
- 3 計算あるいは推算できない場合は“-”表示とし、“0”表示と区別して扱われる。
- 4 “-”欄が含まれない入出力項目に限り、各項目が加算表示される。“-”欄が含まれる入出力項目の合計欄は空欄とされる。

\* 素材の製造原単位(バックグラウンドデータ)は、原則として、鉱石より製造した場合の数値であり、スクラップ等は含まれません。(詳細は、エコリーフ原単位リスト参照)

【解説】

1. 製造・素材には、プリンタ本体及び同梱カートリッジの資源採掘～輸送～素材製造の環境負荷をエコリーフ原単位を使用して計上しています。
2. 製造・製品には、部品の加工(インジェクション、ブロー、プレス、ガラス成形)の環境負荷を計上しています。また、本体組立サイト以外で組立を行っている部品等Cについては、エコリーフ原単位(組立)を使用して負荷を計上しています。  
本体組立負荷は、弊社組立工場の定量的データを使用して計上しています。
3. 物流ステージの基準条件及び原単位について  
エコリーフ環境ラベルの製品分類別基準(PCR)の規定に従い、国内輸送距離を100kmとし、中国からの海外輸送はトラック輸送と海上輸送の負荷を加算して計上しています。
4. 使用・消費ステージの基準条件及び原単位について  
エコリーフ環境ラベルのEP及びIJプリンタ製品分類別基準(PCR)の規定に従い、お客様の使用期間を5年、プリント総枚数を2,535,000枚として電力消費量を計上しています。  
お客様が使用される5年分のトナー消費量は、印字率5%の弊社チャートを使用して算出しています。  
お客様が使用される5年分のカートリッジ製造に関わる負荷及び回収・リサイクルに関わる負荷を、このステージに計上しています。
5. 廃棄・リサイクルステージでは、エコリーフ環境ラベルのEP及びIJプリンタ製品分類別基準(PCR)の規定に従い、お客様からの回収率を40%としてリサイクル負荷を計上しています。残りの60%は、一廃処分シナリオを使用して負荷を計上しています。
6. リサイクル効果では、材料リサイクルしている部品の素材製造に関わる負荷をマイナスで計上しています。



## 6. その他

### 【解説】

1. 製品情報には、製品1台当たり構成される部品等を、素材別と加工・組立別の質量を計上しました。モータ質量は普通鋼に計上しています。
2. 製造サイト情報には、本体組立および出荷時に同梱される感光体・トナー・キャリア製造に使用するエネルギー・物質を計上しています。また、このサイトから大気・水圏に排出される環境負荷を計上しています。
3. 物流ステージ情報には、エコリーフ環境ラベルの製品分類別基準(PCR)の規定に従い、国内輸送距離を100kmとし、中国からの海外輸送はトラック輸送と海上輸送の負荷を加算して計上しています。
4. 使用・消費ステージの製品本体、ラベル対象となる付属品等の使用関連情報には、エコリーフ環境ラベルのEP及びiJプリンタ製品分類別基準(PCR)の規定に従い、お客様の使用期間を5年、プリント総枚数を2,535,000枚として電力消費量を計上しています。  
お客様が使用される5年分のトナー消費量は、印字率5%の弊社チャートを使用して算出しています。  
お客様が使用される5年分の感光体、トナー、キャリアの製造に関わる製造負荷は、このステージに計上しています。  
5年間の使用中に必要とする定期交換部品およびそのサービスマンの移動に必要なエネルギーは、このステージに計上しています。
5. 使用・消費ステージの交換・消耗品の廃棄・リサイクル関連情報には、お客様が使用された感光体、トナー、キャリアおよび定期交換部品のリサイクルに関わる情報を計上しています。  
リサイクルの処理負荷をプラス計上するとともに、その材料製造に関わる負荷を控除できる質量を計上しています。  
「銅再生」関連の処理と控除には、「回路基板再生の銅」を含みます。  
産廃焼却には、回路基板の焼却を含みます。
6. 廃棄・リサイクルステージ情報には、お客様から回収した製品のリサイクル情報を計上しています。  
リサイクルの処理負荷をプラス計上するとともに、その材料製造に関わる負荷を控除できる質量を計上しています。  
「銅再生」関連の処理と控除には、「回路基板再生の銅」を含みます。  
産廃焼却には、回路基板の焼却を含みます。